

一
卷輯



お標起歌



薄土皇位術の風俗なれに理解を以民字
 教を以皇位、癡鈍能生喚る様ハ方便字以
 人を導き吾皇朝名塵直の風

義形意武威を以國字治むされを以
 世字、如多馬の英雄多々治むられ角力
 能豪傑少々、如柳角力能る、免ハ塵直
 字、免を以る、免ハ、吾朝名神の治代
 不、庶島神と御務神、如く、免ハ、免ハ

いし古事記よりある玉城の
市井田安麻蹴と野見乃相祿と
いふこと一日本書記よりある
かき、相祿といふこと何れも金
師代の継ぐ物語に相祿といふこと
無きこととす。又、相祿といふこと
思ふ程に多きことなる角力人の
言ふこととす。相祿といふこと、

けり。平経と生れしに於て治を

市代と武威のたきしこと示し
神のみし。相祿といふ人のち
おき。そのちにあつたこと。二
治。つといふこと。治。つといふ
こと。治。つといふこと。治。つ
といふこと。治。つといふこと。
治。つといふこと。治。つといふ
こと。治。つといふこと。治。つ
といふこと。治。つといふこと。

細末西能者あり目の由緒甚扇花
ゆゑより横綱乃由來なり
記 古代より其の書附とふもの紙巻
末に終る一巻とありやうお撰れ
と受けあふるおのきと存文と
うや乞ふは世に已るなり
は此道を好むと角力とあらう
と之中あらるもの元とてを
けきま あさうを

多くつねに法多も志きね故なり
く乞ふはとわたりるなりと一巻
は花巻とて後多とてよりなり
と事とてかたはる二河合主人の
宛あるはつと紙巻と志強と
世に言はるる書とて世にあり
なりとて年橘のはらわす
はさぬ石川松重

門人 松本吉四郎 玉璽 圖

折角力の起る年王竺より新也年

尼佛因位の村ある太るふおをせ

村は父津飯王村才飯王提婆達

多摩那大臣角力の事法為

経丹見唐土より六國乃

阿角瓶水素の室車角瓶をふ

たると武帝講を於安楽とつ角

経者漢武帝の時蓋牛の角瓶の

日本神代より角力始りて建布雷神
 市名可神角力字取多力雄等
 松子正力三正踏之磐石成子星
 表平松子力神祖神言治也
 戸邊大明神高人皇子孫百十一代
 孝仁天皇七年大和國高市郡建布
 市名可神角力字取多力雄等

十人足字怪乎蹴速乎了はる者
 晉之時乃有出雲國之野見陌祿と事
 有力童無幾ふる事、あま
 差問の兩人力賛おつ角力阿の宿
 補蹴速と投強老骨子折是角力
 監得也右高麻呂成宿禰の子
 此のや良長原乃出先祖也
 人皇五代武天皇神龜二年

孝良考より五穀成就の品祭より母
而節會角力始里諸王より依
て年秋七月國々より力士を遣はし集め
て其中に近江國志賀の里より清
林といふものが勝をぬかれぬものと角
力者といふも清林は勝をぬかれぬものと
清林を家子役をせしむる元出でわ
る歌子協力士一人合と綴と定見とに

大昇一葉協小結の始りて近江に五穀を
里集り力者勝東の力と名付而して里集
りて西の方と名付る角力とて東
中始也東乃其より出はるもの一葉
葉の二葉はさし而して出る者一葉は乃
ち字に東西よりて遠字花と名付
始りて其の年葉のむきより合と
いはきのをれつとて角力とて

角力お對して勝負の通事尤多
く依て法林勝負の事裁断の取
執定御事王の御意届をり於始
行司と名付お勤則四十ハミを分

授年十二掛年十二拾年十二及年十二

合四十ハミ也

出下り角力子城等お撲と有但お撲と申
事はむね
イ何程

勅之相撲の業勝次郎年一宮王土

依小四等れ権子建四とてとやう

主親小就の夢より母よりとて倭子

土表より一果こころお作は多く信

兵衛の御魯國とてわ力士集りて子外

身はとて長金金絶玉と種とるわ市部

等お撲は行ひのるれとてお賀は林

行方ふおをり日可勤ものをうと玉と

は乃あまうに越すの玉と吉田家次と

浪人お撲の乃多あお創一平を都
治法尋り清林平雪一柳渡
奏す樹子王十市團扇より行司
お初豊後守五位下追風と臨る
相撲舟二流さき市河一味清風とし
は雲層中にお撲司日目の象と成
定主追風代市會にお撲お勤来
人皇八十二代後鳥羽院御宇仁徳代後
水尾院より近衛公會にお撲より
以者其後いなく尤君乃に學む無
加茂春日社今に神ありの祭禮
お撲より關東より無強倉新
玉より一年より國の新く其鑑
守より祭禮お撲より古より能事い
るわ右吉田家よりお撲り目力士名討
者より先乃年若風権より助小野川

也助一横綱免許者其例、續
よこづなをいんきよ
 當時何武松縁、胆福素雷早印
あふふのまろとどりのをけいふづま
 一免許者何色哉
いんきよ
 上覧お撰お初候横綱の事、至て不
をまうあてむ
 相撲界傳了
をまうりてん
 時代雄觀形為盛夫有力法茂
せうふゆうけん
 流は有力なるに治る具
をまうりてんきえうあひ

お撰の道西名古實志願氏より
 吉田の家傳る事也近江玉志願住
 人志願氏林丈六六寸許と傳
 月節會はお撰りし像



授五位下元祖追風像



文乃畫師

お撰舞近代の業子あはれ神代々諸
 此尊好せりゆ神龜年申市常金
 法無事りにはお撰舞里到弱靈實
 乃争りて空の業をさき神納交
 阿王とや法人好極るといふ
 見物事とはお撰舞業より五穀成
 就の所お撰舞朝庭よりお撰舞
 にはお撰舞神事崇禮お撰舞神社有

依て歸き、立寄るや先年より
 諸君様方お掛り抱付候に計
 何れ武術不拍不替古は先
 審も可成業然とて毛古代子
 智も若留あり予先祖報
 致し日之有能上世蒙
 卿免追日お掛職業然とて毛古代子
 即國恩以難有るに終り終伏するまで

雷權太夫

浦風林右衛門

久米川新右衛門

鍛山喜平治

境川浪右衛門

玉垣額之助

帳元

根岸治右衛門

おりののせき
 板代を弄取て其外お探しのもの
 出さるしなり年目おとす自然と
 名無字朽石蓄付積立付毎
 床板元家業致令之何次有あつ
 此度再板致令お探中恕一筆に
 古式様江口造り今更被一筆
 取りども不だ
 取共追善月もこのお殿と仕立
 まいどわらんごませし
 水左衛門板より致令

[illegible]

[illegible]

千醫萬藥大計

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

寬政八丙辰年十一月吉辰

此處為右頁的占筮內容，包含多個卦象及其對應的占辭。卦名如「蒙」、「渙」、「睽」等，占辭則涉及人事、財帛、疾病等。文字排列緊湊，為典型的傳統占筮記錄格式。

寬政九丁巳年十月吉辰

此處為左頁的占筮內容，包含多個卦象及其對應的占辭。卦名如「蒙」、「渙」、「睽」等，占辭則涉及人事、財帛、疾病等。文字排列緊湊，為典型的傳統占筮記錄格式。

平板石

番附之遙後始一之

[illegible]

伏票

此書ハ相模番附の板元三河舎主人
の作事主之大嘗相模の故事ヲ博達
故ニ其書を蔵著シ藏板トシテ諸君
賜ニ然ル此交栄久重紅英堂と俱ニ
全ク彼藏板を譲法刷板装本トシ
發販ヤル蓋是ニ脱漏多ク在代乃
ヨリ附并ニ新書附寄延テ増刻追加

いゝ少君相模御好の諸君ハ更ナリ好
事の諸賢も好古の一端を不御購々
御覽の程存希上ル

天保十三年壬寅正月吉日

相模番附板元

三河屋治右衛門

月 鉄次郎

原板

栄久堂山本平吉

東都地本屋

南傳馬町丁目

紅英堂

葛屋吉藏

發梓

